

1（2）多様な対象者のための学習講座

① 民具説明会（1）  
「さつき見舞いと春作業展」

令和元年5月10日～5月30日の内17日間

記念講演会：令和元年5月25日

於：砺波民具展示室

## ○講演会写真



記念講演会：令和元年5月25日

於：砺波民具展示室

講師：高原徹前郷土資料館長

演題：さつき見舞いの親心

## ○季節の展示「さつき見舞いと春作業展」

春の農作業に合わせて、砺波地方のさつき見舞いの習わしを紹介し、手作業による農業を行っていた頃の様子を知る。

「さつき」とは、田植え作業に関わる一連の作業で、米作りの出来を左右する大切な作業であった。家族・村総出で行い、村全体の事業としてで心配し、村中のさつきが終われば全員で喜んだ。特に新入りの嫁には、村の仲間入りをし、顔見せする場となった。実家の親は娘を心配し、「さつき見舞い」として、娘の農作業道具や衣装、餅などの食料品などを持参した。大変な作業であると同時に、農村地帯での心情の表れる美しい風習である。

「さつき」に関する民具（もじりなどの衣類、苗かごなどの春作業道具）の展示を行い、「親心」について講演会を行った。

## ○受講者・来館者の感想

- ・懐かしい。親がいろいろな道具を持たせてくれたことが思い出される。
- ・昔は皆で集団でわいわいと作業をしていた。今では考えつかない。

## ○評価と課題

- ・最初の小企画展示であったので、周知が不十分であったことは否めない。入館者は42人。
- ・砺波民具展示室は収蔵展示の形式を取っているため、このような催し物をしており、新しいことを常に行っているというイメージ付けが大切。一度来たので、もう十分ではなく、何回も行ってみたいという気持ちになってもらうよう、地道な周知を行って、地域市民の博物館だという意識付けが必要と痛感した。